

📖 今月のおすすめ本 📖

『昨日までと違う自分になる』

著者名 若宮 正子

出版年 2023

出版者 KADOKAWA

分類番号 367.7/ワ

81歳でゲームアプリを作り「世界最高齢の開発者」と話題になった作者が、戦時中の子供の頃からどう感じつつ人生を過ごしてきたかを振り返ります。

苦労した話は一切なし。何でも面白いと感じて自分は運がいいと言いつつ、働くことや50歳以降に始めた海外旅行を中心に様々な出来事を私達に語りかけてきます。

「自由に」「ワクワク」と人生を楽しんでいる作者のメッセージから、何かやってみよう！という気持ちを分けてもらうことができます。ぜひ手にとってみてください。

📖 これからの老後について

『シニアのデジタル化が拓く豊かな未来 自治体・地域で出来る!』

【367.7/ワ】 沢村 香苗(2020)学陽書房

『100のチャートで見る人生100年時代、「幸せな老後」を自分でデザインするためのデータブック 』

【367.7/オ】 大石 佳能子(2019)ディスカヴァー・トゥエンティワン

『めくるめく数学。女性数学者たちが語るうるわしき数学の物語』

著者名 嶽村 智子、大山口 菜都美、酒井 祐貴子

出版年 2023

出版者 明日香出版社

分類番号 410.4/メ

日常の生活に、例えばクレジットカードや牛乳パック、ピアノの鍵盤に数学が隠れていると思うとワクワクしませんか。カードの形は視覚的に人が好むと言われる黄金比5:8である黄金長方形に近いですし、牛乳パックの縦横高さの計算上の容量とパックの表示が違うのはどうしてなのか、またピアノなど1オクターブの概念はピタゴラスが始まりで音楽に詳しい人はそれは常識だということです。

難しい数学式はちょっと…という方も数学的にホールケーキを三分割にできる簡単な方法を知ることができます。この本を読むと学校の時に数学の時間眠くなってた人も楽しく数学が学べます。

📖 『研究するって面白い! 科学者になった11人の物語』

【402.106/イ】伊藤 由佳理/編著(2016)岩波書店

『目で見ることばで話をさせて』

著者名 アン・クレア・レゾット/作、横山 和江/訳 出版年 2022
出版者 岩波書店 分類番号 933.7/レ

本書は19世紀初頭のアメリカにある島を舞台にした歴史フィクションです。この島はその地理的要因もあり遺伝性難聴者の多い地域ですが、人々は手話を通じ自然豊かな生活を送っています。

主人公のメアリーは難聴ながらも友人や優しい父母に囲まれ暮らしていますが、事故死した兄が家族に影を落としています。ある日、この地域を研究する若い科学者がやって来ます。そこから島の日常がだんだん壊され、ついにはメアリーも誘拐されてしまいます。一体どうなるのか…。

本書は 先住民との確執、南北戦争後解放された自由黒人への差別、当時の難聴者への無理解など、現代の私達も考えさせられる問題がたくさんあります。児童書ですが、大人も楽しめます。

📖 手話など

『きらめく拍手の音 手で話す人々とともに生きる』

【369.276/1】 イギル ポラ(2020)リトルモア

『ろう女性学入門 誰一人取り残さないジェンダーインクルーシブな社会を目指して』

【369.276/0】 小林 洋子/編(2021)生活書院